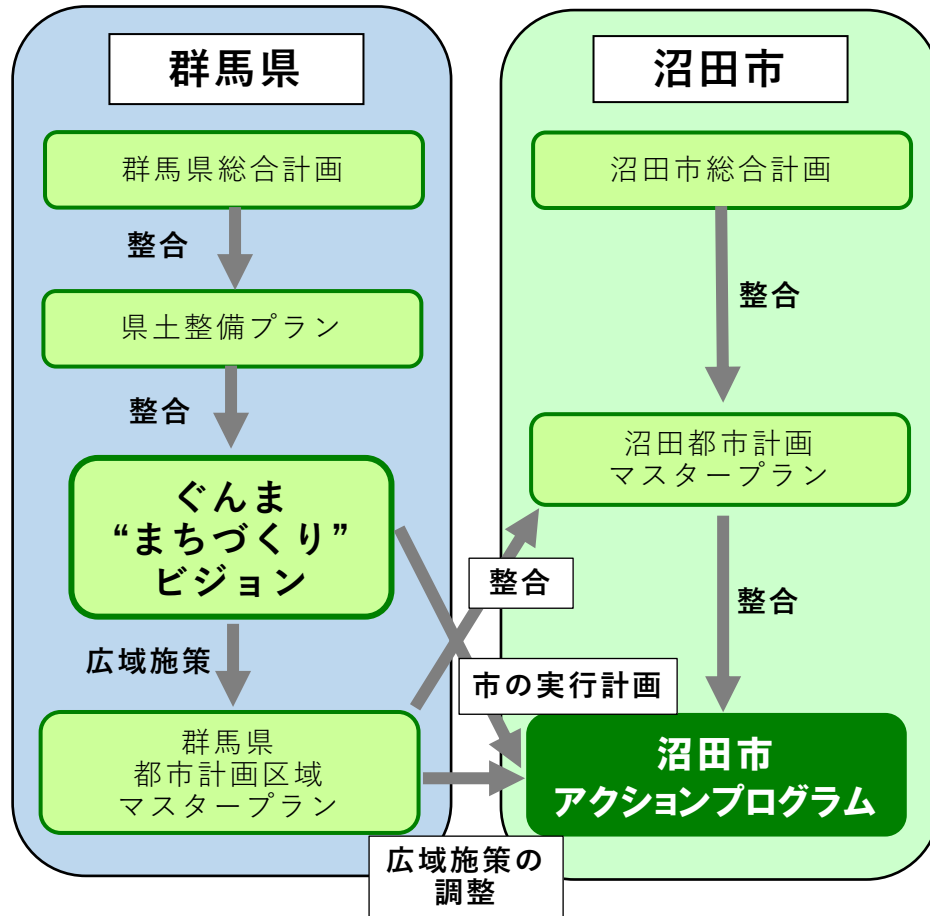


# ぐんま“まちづくり”ビジョン 沼田市アクションプログラム【概要版】

## 1. ぐんま“まちづくり”ビジョン沼田市アクションプログラムについて



群馬県は、人口減少・超高齢社会への対応といった都市を取り巻く環境の変化を踏まえ、「ぐんま“まちづくり”ビジョン」により、これからの群馬県の都市計画の取組方針を明らかにしました。

沼田市では「ぐんま“まちづくり”ビジョン」を受けて、上位計画である沼田市総合計画や沼田市都市計画マスタープランなどの整合性を図りながら、具体的なまちづくりの取組を着実に進めるための実現化計画として本アクションプログラムを策定します。

## 2. 沼田市に今後生じる望ましくない状況

人口減少・高齢化をはじめ、都市の現状や将来予測から心配な社会情勢が今後進行することで、市民のくらしや行政運営に次のような望ましくない状況が生じると考えられます。

現状と課題 今後生じる望ましくない状況	検証カルテの結果より	問題点系統図の整理より
<ul style="list-style-type: none"> <li>●人口減少・高齢化による地域の縮小</li> <li>●市街地の人口密度低下</li> <li>●住居、商業施設等の立地の分散</li> <li>●空き家の増加</li> <li>●商工業の減少</li> <li>●観光資産の散在、観光地の回遊性・連携の不足</li> <li>●不便と感じる公共交通</li> <li>●公共交通の利用者減少</li> <li>●移動の多くを自家用車に頼らざるを得ない状況</li> <li>●地域活力の衰退</li> <li>●行政コストの増加</li> <li>●多様な行政サービスへの対応低下</li> <li>●交通弱者の利便性低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生活が不便になる</li> <li>■地域内の自助・共助ができなくなる</li> <li>■生活環境が悪化する</li> <li>■雇用が減る</li> <li>■行政コストが増える</li> <li>■交流人口減少による税収減</li> <li>■流入人口減少による税収減</li> <li>■居住人口減少による税収減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共施設やインフラの維持が難しくなる</li> <li>◆買い物弱者が増える</li> <li>◆交通弱者が増える</li> <li>◆地域の治安や環境が悪くなる</li> <li>◆医療費の負担が増える</li> <li>◆市街地への交通アクセスが悪くなる</li> <li>◆観光・来訪地としての魅力が低下する</li> <li>◆交流人口が減る</li> <li>◆中心市街地のにぎわいが減る</li> <li>◆中心市街地に出かける人が減る</li> <li>◆中心市街地のエリア価値が低下する</li> </ul>

## 3. 「まちの将来像」の実現に向けたまちづくりの基本目標

沼田市における今後生じる望ましくない状況を「ぐんま“まちづくり”ビジョン」を踏まえて望ましい状況へと転換させるため、「まちづくりの基本目標」を以下のとおり定め、沼田市の上位計画である「沼田市第六次総合計画」に掲げるまちづくりの将来像実現を目指します。

	望ましくない状況	望ましい状況	まちづくりの基本目標		
検証カルテ結果より	生活が不便になる	生活が便利になる	まちづくりの基本目標		
	地域内の自助・共助が維持できなくなる	地域内の自助・共助が維持される			
	生活環境の悪化	生活環境の向上			
	雇用の減少	雇用の維持			
	行政コストの増加	行政コストの低減			
	流入人口の減少による税収減	流入人口維持による税収維持			
	交流人口の減少による税収減	交流人口維持による税収維持			
	居住人口の減少による税収減	居住人口維持による税収維持			
	問題点系統図より	公共施設やインフラの維持が難しくなる		公共施設やインフラの維持	生活の利便性と環境の向上による地域の活性化
		買い物弱者が増える		公共交通の利便性向上	
交通弱者が増える		地域の治安や環境の維持			
地域の治安や環境が悪くなる		医療費の負担抑制			
医療費の負担が増える		市街地への交通アクセス性向上			
市街地への交通アクセスが悪くなる		観光・来訪地としての魅力維持			
観光・来訪地としての魅力が低下する		交流人口の維持			
交流人口が減る		中心市街地のにぎわいの維持			
中心市街地のにぎわいが減る		中心市街地に出かける人の維持			
中心市街地に出かける人が減る		中心市街地のエリア価値の維持			
中心市街地のエリア価値が低下する		地域の魅力や資源を活かしたにぎわいあるまちづくり			

沼田市第六次総合計画 まちづくりの将来像 → **こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田**

## 4. 沼田市のまちづくりの基本方針と取組内容

沼田市では「まちづくりの基本目標」を達成するための基本方針として、「ぐんま“まちづくり”ビジョン」に掲げられている7つの基本方針を踏まえ、まちづくりを推進します。

- 基本方針1 人口減少を前提とした土地利用計画にあわせた公共交通や都市施設の再構築
- 基本方針2 空き地・既存施設の利活用や街なかへの転居の促進や集客施設の誘致
- 基本方針3 地域の誇れる個性・景観・くらしを支える機能を整えた魅力的な「まちのまとまり」づくり
- 基本方針4 都市間移動も都市内移動も高い利便性の確保
- 基本方針5 災害時でも安全・安心な都市環境の整備
- 基本方針6 ぐんまの強みを活かした産業の誘致や新エネルギーによる産業創出環境づくり
- 基本方針7 家計にも環境にも優しい付加価値の高い効率的なまちづくり



## 5. 沼田市アクションプログラムにおける重点プロジェクト

本市が目指すべき望ましいまちを実現するにあたっては、複数の関連する事業を一つのプロジェクトとして実施することで、個別に着手するよりも大きな効果を発揮することが期待されます。そのため、今後継続して行われる複数の関連施策を一つのプロジェクトとしてまとめ重点的に取り組みます。

### 重点プロジェクト1 生活の利便性と環境の向上による地域の活性化

既存の市街地や地域の集落などの「まちのまとまり」を保ち、「まちのまとまり」をつなぐ道路や公共交通など道路ネットワークの整備を進めることで、生活の利便性向上を図ります。また、定住人口増加の取組とともに、雇用や子育て環境の向上、市民協働や健康づくりの取組を進め、地域の活性化を目指します。

成果指標	基準年 (R2)	目標年 (R8)
人口	45,816人 第2期沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 I.人口ビジョン編 第2期総合戦略(社人研推計準拠) 数値	45,000人 第2期沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 I.人口ビジョン編 将来の人口推計(目標達成) 数値参照
転入者 転出者	転入者1,096人 転出者1,352人 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」	転入者1,121人(基準年から25人増加) 転出者1,327人(基準年から25人減少) 第2期沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 II.総合戦略編 数値目標(R6)参照

基本方針	取組内容	具体的な事業	実施主体	工程表						担当課	状況
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		

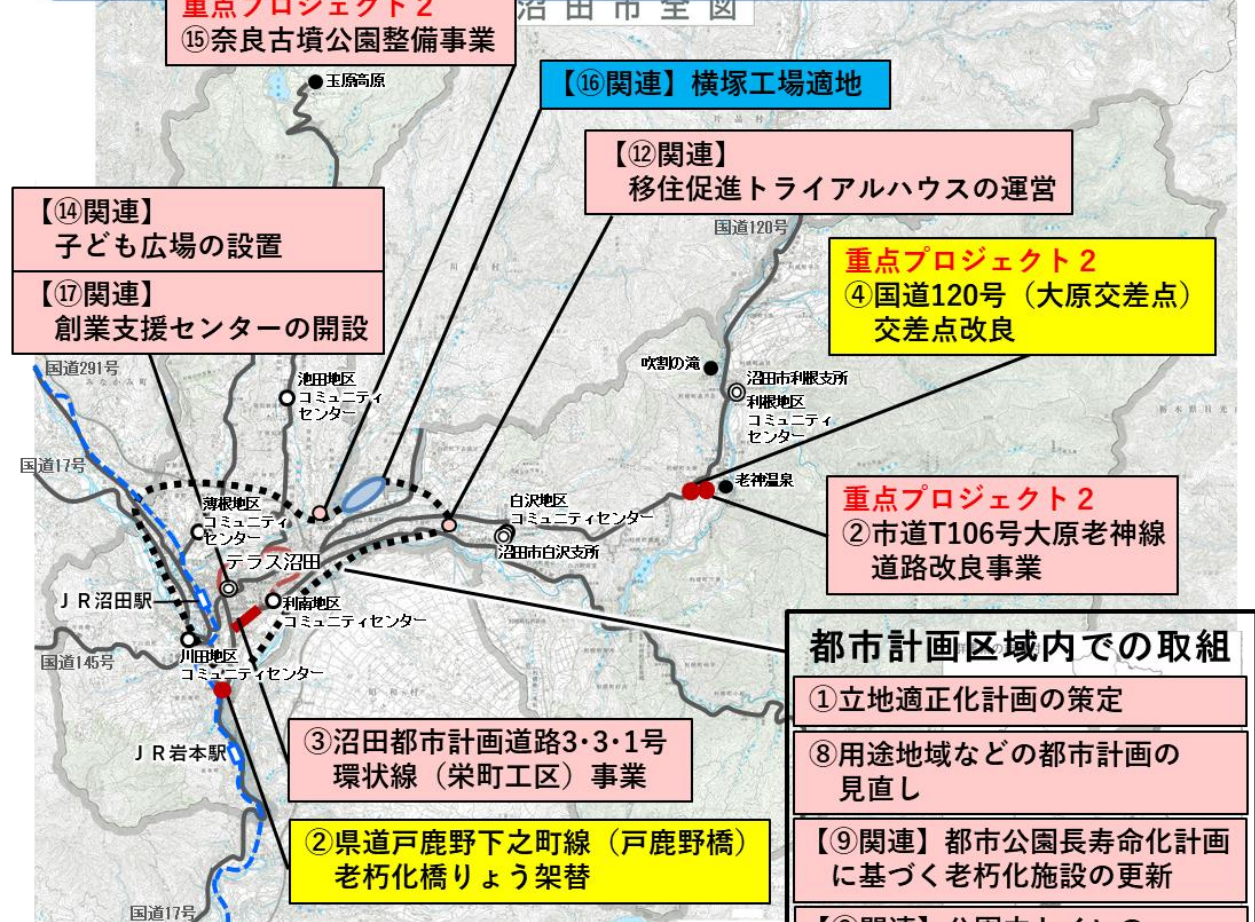
新規に、または期限を定めて取り組む事業												
1	(1)	①立地適正化計画の策定	市	検討	策定	活用					都市計画課	新規
1	(1)	②県道戸鹿野下之町線(戸鹿野橋)老朽化橋りょう架替	県								群馬県	令和11年度完成予定
1	(1)	③沼田市計画道路3・3・1号環状線(栄町工区)事業	市								都市計画課	現事業認可令和6年度末まで
2	(3)	④ぬまた暮らし物件情報の提供	民間市								観光交流課	新規
3	(8)	⑤地区コミュニティセンターの活用	市民市								市民協働課	新規
3	(8)	⑥地域コミュニティのチカラを育む人的支援	市民市								市民協働課	新規
4	(1)	⑦デマンドバスの運行	民間市								企画政策課	新規

継続的に実施していく事業												
1	(1)	⑧用途地域などの都市計画の見直し	市								都市計画課	継続
2	(4)	⑨都市公園整備事業(長寿命化対策)	市								都市計画課	継続
3	(1)	⑩景観計画の策定及び良好な景観形成の推進	市	検討	策定	活用					都市計画課	検討
3	(4)	⑪都市間交流推進事業	市								観光交流課	継続
3	(5)	⑫移住促進対策事業	市								観光交流課	継続
3	(6)	⑬雇用支援対策事業	市								産業振興課	継続
3	(7)	⑭地域子ども子育て支援事業の推進	民間市								子ども健康課	継続
3	(8)	⑮スマートウェルネス推進事業	市								健康課	※1
6	(1)	⑯企業誘致推進事業	県市								群馬県 産業振興課	継続
6	(3)	⑰創業支援事業	市								産業振興課	継続

※1 令和4年度までの重点施策として参加者2,000人を目指す

プロジェクトの選定基準  
課題分析した結果から取り組むべき課題は多いですが、既存の市街地や地域集落などの生活環境向上と定住人口の創出などによる地域の活性化と、中心市街地の整備と本市の強みとなる地域資源・歴史資源を活かしたにぎわいの創出を軸として、それらに関する事業をプロジェクトとして策定しました。

### 重点プロジェクト1 生活の利便性と環境の向上による地域の活性化 具体的な取組箇所



市内全域での取組	
④ぬまた暮らし物件情報の提供	
⑦デマンドバスの運行	
⑩景観計画の策定及び良好な景観形成の推進	
【11関連】田舎暮らし体験ツアーの実施	
⑬雇用支援対策事業	
⑭利用者支援事業	
⑭地域子育て支援拠点事業	
⑭放課後児童健全育成事業	
⑭ファミリー・サポート・センター事業	
⑮スマートウェルネス推進事業	
⑯企業誘致推進事業	
⑰創業支援事業	

都市計画区域内での取組	
①立地適正化計画の策定	
⑧用途地域などの都市計画の見直し	
【9関連】都市公園長寿命化計画に基づく老朽化施設の更新	
【9関連】公園内トイレのバリアフリー化	

地区での取組	
⑤地区コミュニティセンターの活用	
⑥地域コミュニティのチカラを育む人的支援	
地域課題解決に向けた話し合いによる地域づくりの支援など	

凡例	
---	J R上越線
—	市内の主要な国道及び県道
—	環状線



## 5. 沼田市アクションプログラムにおける重点プロジェクト

### 重点プロジェクト2 地域の魅力や資源を活かしたにぎわいあるまちづくり

まちの顔となる中心市街地の整備を進めるとともに、本市の強みとなる歴史資源や地域資源を活かす取組を進めることで交流人口の増加とまちのにぎわい創出を図ります。

成果指標	基準年 (R1)	目標年 (R8)
観光客入込数	年間 約274万人 群馬県観光客数・消費額調査(推計)結果	年間 約290万人 第2期沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 II.総合戦略編 目標値(R6)参照
にぎわいの核への来訪者数※2	年間 約14万人 沼田市都市計画課集計値	年間 約17万人 第2期沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 II.総合戦略編 目標値(R6)参照

※2 (仮称)天狗プラザ内JA農産物直売所、生方記念文庫、旧沼田貯蓄銀行、旧土岐家住宅洋館、旧日本基督教団沼田教会記念会堂及び沼田まつりなどでの(仮称)天狗プラザ利用者数の概数を集計

基本方針	取組内容	具体的な事業	実施主体	工程表					担当課	状況
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
新規に、または期限を定めて取り組む事業										
2	(1)	①やさしさの核・にぎわいの核の整備	市	→					都市計画課	土地区画整理事業にあわせて整備
3	(2)	②中心市街地土地区画整備事業	市	→					都市計画課	現事業認可令和6年度未まで
3	(3)	③市道T106号大原老神線道路改良事業	市	→					建設課	令和3年度完成予定
3	(10)	④旧久米邸洋館保存整備事業	市	移築	管理・活用				文化財保護課	令和4年度移築予定
3	(10)	⑤沼田城跡遺跡発掘事業	市	→					文化財保護課	令和5年度未まで
5	(1)	⑥国道120号(大原交差点)交差点改良	県	→					群馬県	令和5年度完成予定
継続的に実施していく事業										
2	(1)	⑦中心市街地街なか再生関連推進事業	市	→					都市計画課	継続
2	(2)	⑧中心市街地空き店舗活用事業	民間市	→					都市計画課	継続
3	(3)	⑨歴史資源活用事業	市	→					観光交流課	継続
3	(4)	⑩観光宣伝事業	市	→					観光交流課	継続
3	(10)	⑪旧沼田貯蓄銀行管理事業	市	管理、活用					文化財保護課	継続
3	(10)	⑫旧土岐家住宅洋館管理事業	市	管理、活用					文化財保護課	継続
3	(10)	⑬旧日本基督教団沼田教会記念会堂管理事業	市	管理、活用					文化財保護課	継続
3	(10)	⑭旧生方家住宅等管理事業	市	保存・活用					文化財保護課	継続
3	(10)	⑮奈良古墳公園整備事業	市	管理	計画・整備				文化財保護課	継続
6	(3)	⑯電子地域通貨事業	民間市	→					産業振興課	継続
7	(1) (2)	⑰ファシリティマネジメント推進事業	民間市	→					財政課	※3

※3 公共施設等総合計画の計画期間は令和38年度まで

### 重点プロジェクト2 地域の魅力や資源を活かしたにぎわいあるまちづくり 具体的な取組箇所

